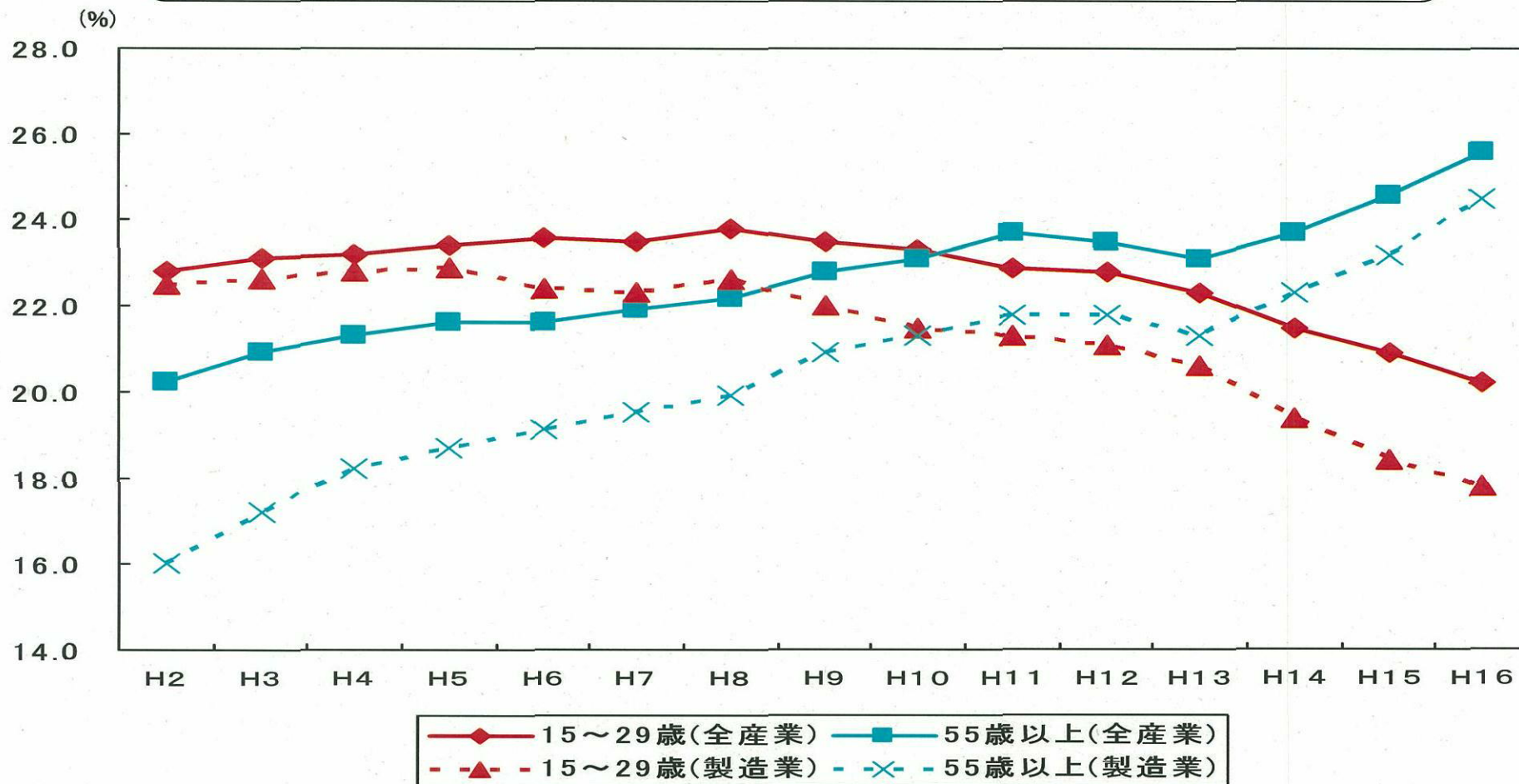


就業者に占める若年者・高齢者及び女性の割合の推移

若年者(15～29歳)の就業者に占める割合が減少傾向にあるとともに、
 高齢者(55歳以上)の就業者に占める割合は増加傾向にある。
 特に製造業においてはそうした変化が全産業平均より急速に進んでいる。



資料出所:総務省「労働力調査」

なお、「労働力調査」はH15年から、産業区分は新産業分類(H14年改訂)で発表しているため、旧産業分類ベースである

それ以前の数値とは、数値は接続しない点、留意が必要。

また、H16年で55歳以上の比率が高い業種は、①農林業②漁業③建設業、サービス業となっている。